

2026年3月期（第16期）  
第3四半期決算説明資料

2026.1.23

テクノホライゾン株式会社  
代表取締役社長 野村拡伸



## 目次

---

1. 2026年3月期（第16期）第3四半期決算概要
2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想
3. トピックス

# 1. 2026年3月期（第16期）第3四半期決算概要

## (1) 2026年3月期 損益サマリー

	2025年 3月期 第3四半期	2026年 3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	35,980	34,825	△ 1,155	-3.2%
映像& I T	25,654	25,543	△ 111	-0.4%
ロボティクス	10,325	9,281	△ 1,044	-10.1%
営業利益	330	1,261	+931	282.1%
経常利益	589	1,536	+947	160.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	247	856	+609	245.9%

単位：百万円

前年同期実績比  
**減収増益**

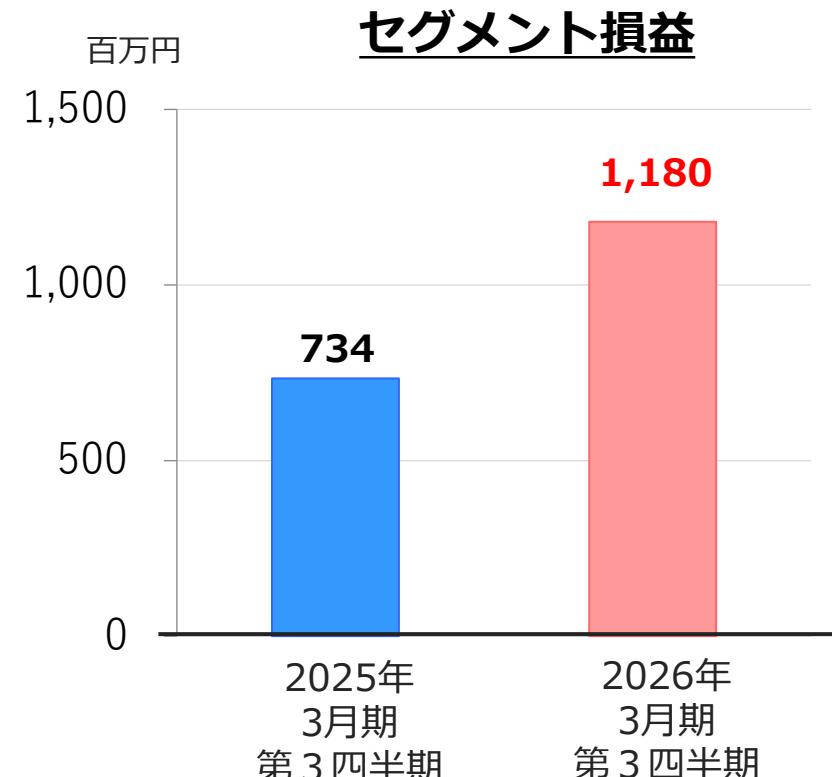
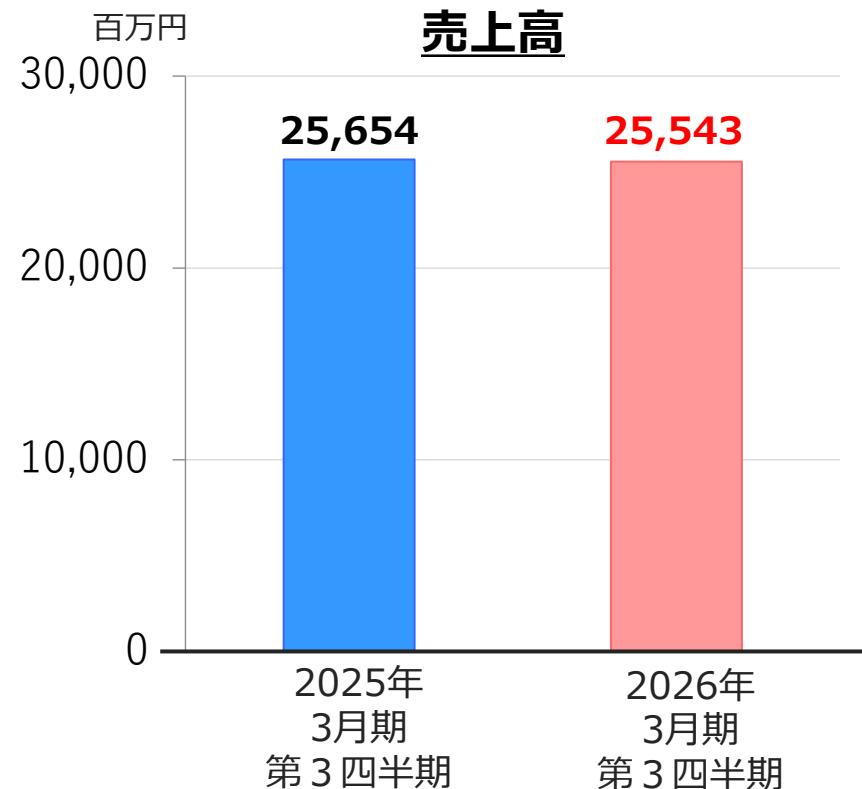
**減収要因 :**  

- 「ロボティクス事業」減収

**増益要因 :**  

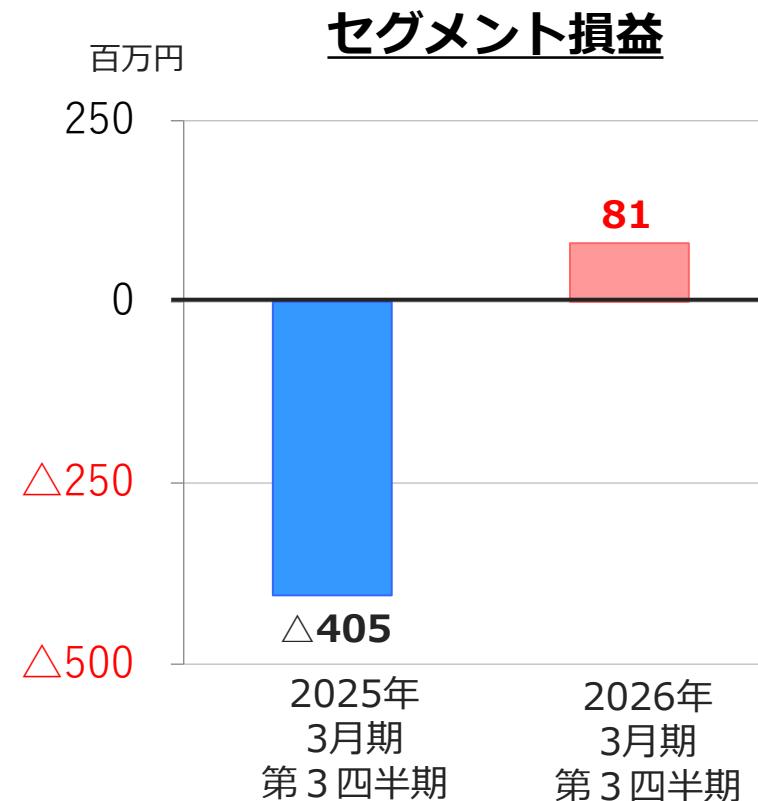
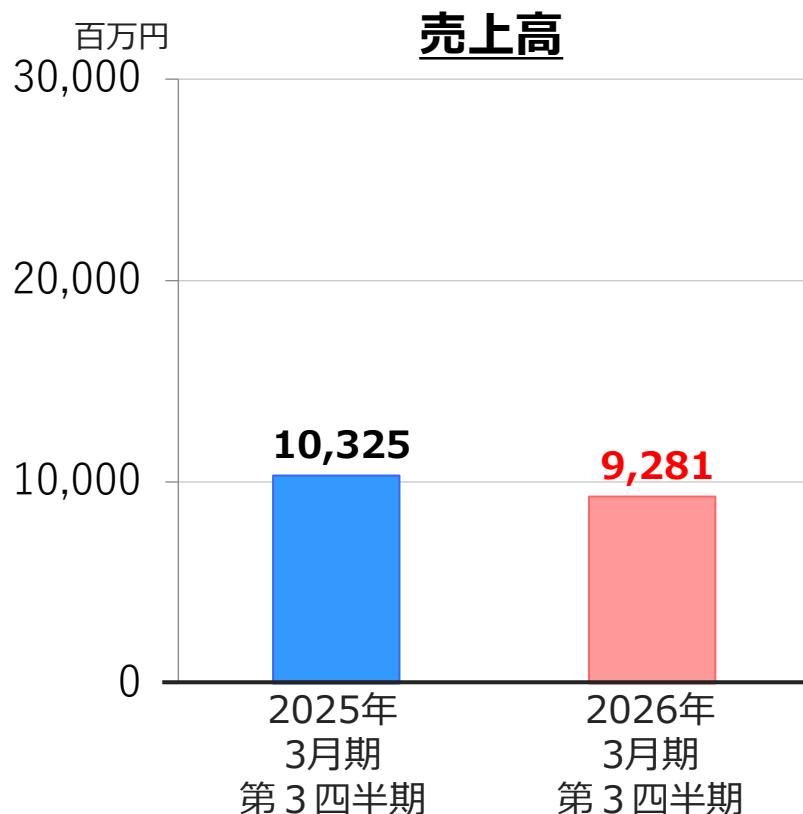
- GIGAスクール構想第2期に伴う需要の増加
- 粗利益率の改善
- 販管費の減少

## (2) 映像&amp;IT事業セグメントの損益



- ・教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：国内 GIGAスクール構想第2期に伴う、既存機器の更新需要が高まり、販売が堅調に推移
- ・海外事業
  - Pacific Tech Pte. Ltd.（サイバーセキュリティ製品の卸売）
    - 現地パートナー企業や顧客へのサポート体制の強化などにより堅調な売上高と収益を継続
  - ESCO Pte. Ltd.（オフィス機器、AVシステムの販売）
    - グローバル企業向けオフィス設置事業において取引先企業の設備投資計画の後ろ倒しが続いたことから、業績が想定を下回る

## (3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ FA事業関連機器：①国内
  - ・ 重点的に取り組む高付加価値・高採算製品へのシフトが着実に進み、粗利益率が改善
  - ・ 経費削減と生産効率化の推進により、事業全体の採算性が向上
  - ・ 半導体製造向けハイエンドX線検査装置については、国内のみならず、中国・台湾・韓国をはじめとするアジア地域からの引き合いが拡大し、成長ドライバーとして販売を強化
  
- ②中国
  - ・ 経済の減速や設備投資意欲の回復の遅れの影響を受け、需要は依然として低調に推移
  - ・ 販売体制の効率化に加え、さらなる経費削減による収益改善の取り組みを進める

## (4) 2026年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	2025年 3月期	2026年 3月期 第3四半期	増減
流動資産	28,260	26,491	△ 1,769
固定資産	9,136	8,466	△ 669
<b>資産合計</b>	<b>37,397</b>	<b>34,957</b>	<b>△ 2,439</b>
流動負債	22,560	20,245	△ 2,315
固定負債	4,738	4,519	△ 218
<b>負債合計</b>	<b>27,298</b>	<b>24,765</b>	<b>△ 2,533</b>
株主資本	7,386	7,991	+ 605
その他の包括利益合計額	2,702	2,200	△ 501
<b>純資産合計</b>	<b>10,098</b>	<b>10,192</b>	<b>+ 94</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>37,397</b>	<b>34,957</b>	<b>△ 2,439</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>27.0%</b>	<b>29.2%</b>	<b>+2.2pt</b>

**流動資産**

- ・現金及び預金 : + 1,034百万円
- ・受取手形及び売掛金 : △3,295百万円
- ・商品及び製品 : + 309百万円
- ・仕掛品 : + 388百万円
- ・原材料及び貯蔵品 : △223百万円

**固定資産**

- ・有形固定資産 : △184百万円
- ・無形固定資産 : △275百万円
- ・投資その他の資産 : △210百万円

**流動負債**

- ・支払手形及び買掛金 : △1,493百万円
- ・短期借入金 : △867百万円
- ・一年以内返済予定の長期借入金 : △310百万円
- ・未払法人税等 : + 196百万円
- ・賞与引当金 : △110百万円
- ・その他 : + 269百万円

**固定負債**

- ・長期借入金 : △173百万円

**純資産**

- ・利益剰余金 : + 614百万円
- ・為替換算調整勘定 : △510百万円

## 2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想

## (1) 2026年3月期 業績予想（前期比較）

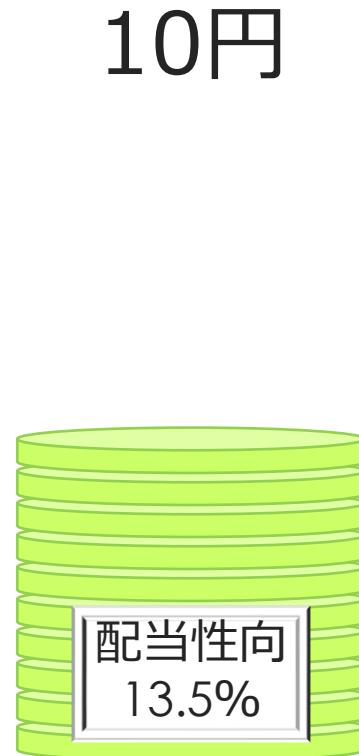
単位：百万円

	2025年 3月期 実績	2026年 3月期 当初予想	2026年 3月期 修正予想	前年比		当初予想比	
	(a)	(b)	(c)	増減額 (c-a)	増減率 (c/a)	増減額 (c-b)	増減率 (c/b)
売上高	50,624	53,000	51,000	+375	0.7%	△ 2,000	-3.8%
営業利益	373	1,200	1,500	+1,126	301.5%	+300	25.0%
経常利益	369	950	1,800	+1,431	387.0%	+850	89.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 616	450	1,100	+1,716	-	+650	144.4%

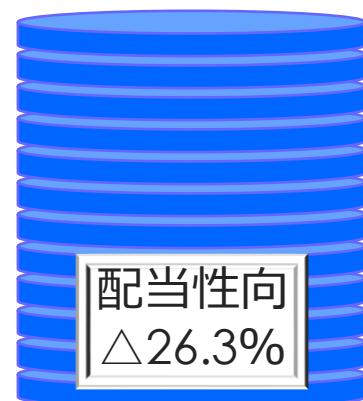
※第3四半期連結累計期間の業績を受けて、2025年5月9日に開示した2026年3月期の通期連結業績予想を修正

## (2) 2026年3月期 配当予想

年間配当予想：年間 1 株あたり20円



2024年3月期  
(実績)



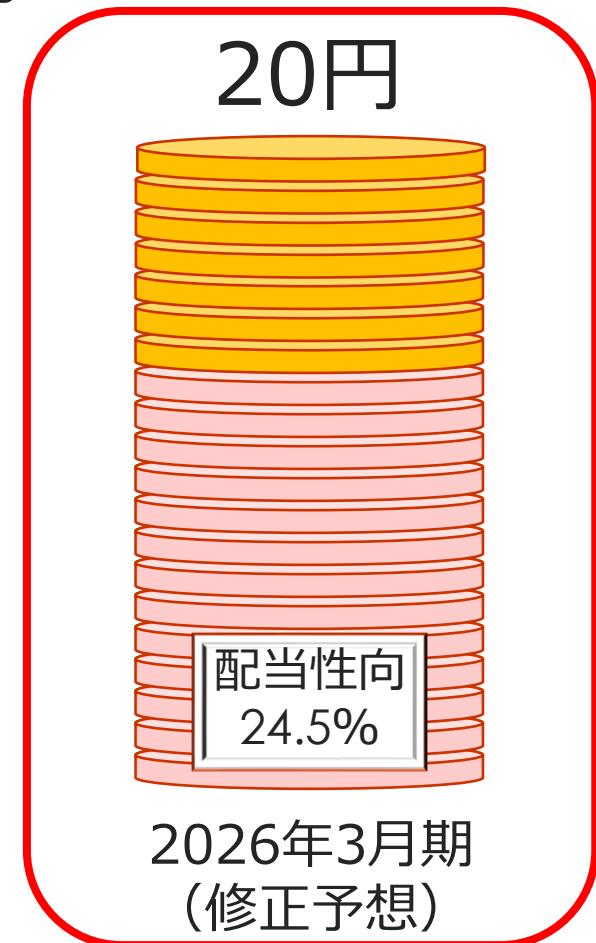
2025年3月期  
(実績)

13円



2026年3月期  
(当初予想)

20円



2026年3月期  
(修正予想)

※第3四半期連結累計期間の業績を受けて、2025年5月9日に開示した2026年3月期の期末配当予想を修正

### 3. トピックス

# (1) 私たちが目指すもの



## 私たちが掲げるミッションと目指すべき未来

- グローバルな人と社会に貢献すること、すなわち、映像&ITとロボティクスが生み出す、人と技術が共に生きる未来。そしてその先にある、「人々が安心して学び、働き、そして暮らしていける、持続可能な社会」の実現です。従来の「教育」「安全・生活」「医療」「FA」といった事業領域の枠組みを、少し形をかえて、「**教育ICT**」「**企業・自治体DX**」「**FAロボット**」「**ビジョンシステム**」に組み替えました。

### ■ 「教育ICT」では

多様な子どもたち一人ひとりに合わせた学びが求められる中、ICT機器や学習支援システムを通じて、教育現場の質の向上を支援し、未来の人材育成を支えます。

### ■ 「企業・自治体DX」では

仕事の価値を高め、効率的かつ安全な運営や、サービスのクオリティ向上に貢献します。

### ■ 「FAロボット」が活躍する製造現場では

高い品質と生産性の両立が求められ、精密制御や検査技術を活用することで、課題解決に取り組みます。

### ■ 「ビジョンシステム」分野では

人の目では捉えきれない情報を映像技術とAIで可視化し、迅速かつ正確な判断を支援することで、より良い社会インフラを支えます。

### 私たちが目指すもの

映像&ITとロボティクスが生み出す、人と技術が共に生きる未来  
～人々が安心して学び、働き、そして暮らしていける、持続可能な社会～

映像&IT

ロボティクス

教育ICT

企業・自治体DX

FAロボット

ビジョンシステム

テクノホライズンの技術と事業領域で実現を目指す

## (2) テクノホライゾンの動き



テクノホライゾン株式会社

### テレビ愛知「開発現場へ行こう！」で当社が紹介されました

- テレビ愛知で毎週火曜22時58分から放送中の「開発現場へ行こう！」で当社が紹介されました。
- 【公式】テレビ愛知 TV Aichi (YouTube チャンネル) にてご視聴いただけますので是非ご覧ください。

#### 【公式】テレビ愛知 TV Aichi (YouTube チャンネル)



- ◆放送日 : 2025年12月9日OA
- ◆番組内容 : 未来をつくる技術者たちの挑戦  
開発者たちの熱意によって生まれた製品に秘められたドラマを覗いてみよう。



テクノホライゾン株式会社

### テクノホライゾン共創ミートアップ EXPO 開催 — 次のビジネスは、ここで形になる —

- 2026年4月23日（木）に名古屋公会堂にて開催されるスタートアップワールドカップ名古屋予選と連動し、にてスタートアップ企業との共創を促進する展示イベント「テクノホライゾン共創ミートアップ EXPO — 次のビジネスは、ここで形になる —」を開催いたします。



#### ✓ 開催の目的

本イベントは、スタートアップワールドカップとの連動企画として、またオープンイノベーション施設「STATION Ai」にて開催することで、こうした共創の取り組みを具体的に紹介し、新たな協業の創出につなげることを目的としています。スタートアップ企業にとっては、技術の導入先や共同提案、開発・量産パートナーとの出会いの場を、事業会社にとっては、スタートアップ企業の技術を活用した新たな事業や提案のヒントを得る機会を提供します。

## (3) 製品・サービス情報

**SILKYPIX**

**SILKYPIX Developer Studio Pro12が  
「DGPイメージングアワード2025」で金賞を受賞**

- アドワーの「SILKYPIX Developer Studio Pro12」が、2025年10月31日（金）に発表された「DGPイメージングアワード2025」の「RAW現像ソフト」部門において金賞を受賞しました。

「DGPイメージングアワード」は、デジタルイメージングに関するあらゆるソリューションを対象として、写真家、評論家、販売店（流通）から構成される審査員が選出する音元出版主催の消費者目線のアワードです。

SILKYPIXシリーズとしては、今回の受賞で通算29回目の金賞受賞となります。



**SILKYPIX PRO12**  
DEVELOPER STUDIO



テクノホライズン株式会社

**N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想を見据えた  
遠隔教育支援への取り組みを紹介**

- 令和7年度補正予算で文部科学省より公表された「N-E.X.T.ハイスクール構想」を見据えた遠隔教育支援を進めていく方針を発表しました。

**■ N-E.X.T.ハイスクール構想で遠隔教育にも注目**

令和7年度補正予算について文部科学省では、高校教育改革を促進するため、各都道府県に基金を創設し、先導校の取り組みや成果を域内の高校に普及する N-E.X.T.ハイスクール構想に2,955億円が盛り込まれています。

**■ 当社の遠隔教育支援への取り組み**

- 全国で積み上げてきた10年以上の遠隔教育の知見を活かし、教室間や教育センターと教室をつなぐ遠隔合同授業の活用や導入事例の展開を進めます。
- 離れた学校同士をつないで、同じ教室内にいるかのような遠隔教育を実現する遠隔ツール「xSync Prime Academic」を活用し、スムーズな遠隔教育環境の構築を提案。
- 教育関係者向けに最新の提案書を提供。



## (4) 海外子会社情報



**ESCO**  
EXCELLENCE DELIVERED

### ESCO Pte. Ltd. グループ受賞

- ✓ ESCO Pte. Ltd. が、Zoom 社のPartner Connect Asia 2025 でアジア プラチナ パートナー オブ ザ イヤーを受賞しました。



- ✓ ESCO Pte. Ltd. Philippinesが、HPフィリピンからPolyのCommercial Growth Partner for Poly賞を受賞しました。



- ✓ COLCOM が、Samsung Electronics より 2025–2026年度の最高成長パートナー(西部地域) 賞を受賞しました。



- ✓ COLCOM が、LG Electronics の戦略的 パートナー賞を受賞しました。



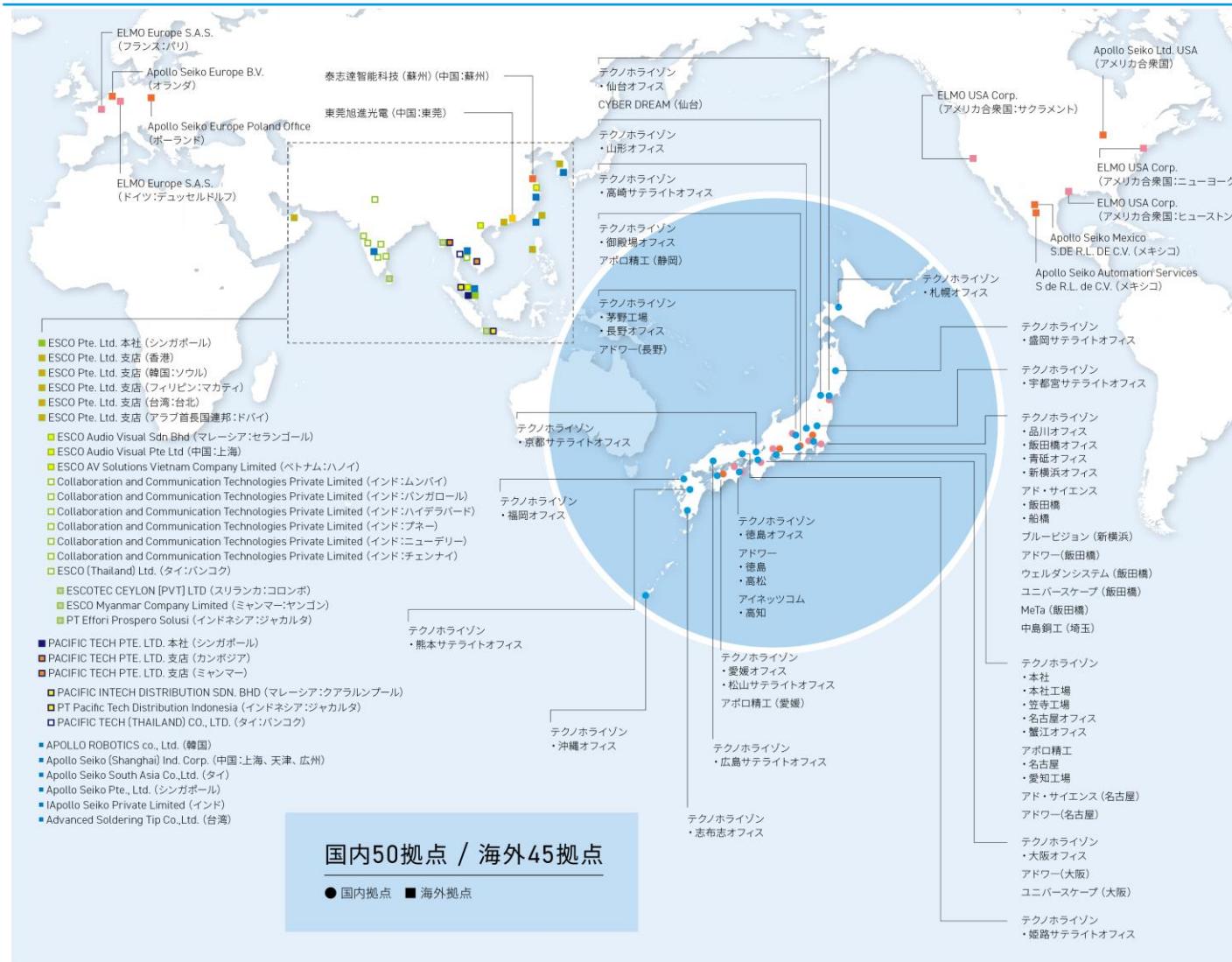
**Pacific Tech**

### Pacific Tech Pte. Ltd.受賞

- ✓ Pacific Techが、タイで開催されたイベントでNinjaOne から技術優秀賞を受賞しました。



## (5) グローバル化を加速



国内50抛点  
海外45抛点

多様性に満ちた人材で  
グローバルなニーズに応える

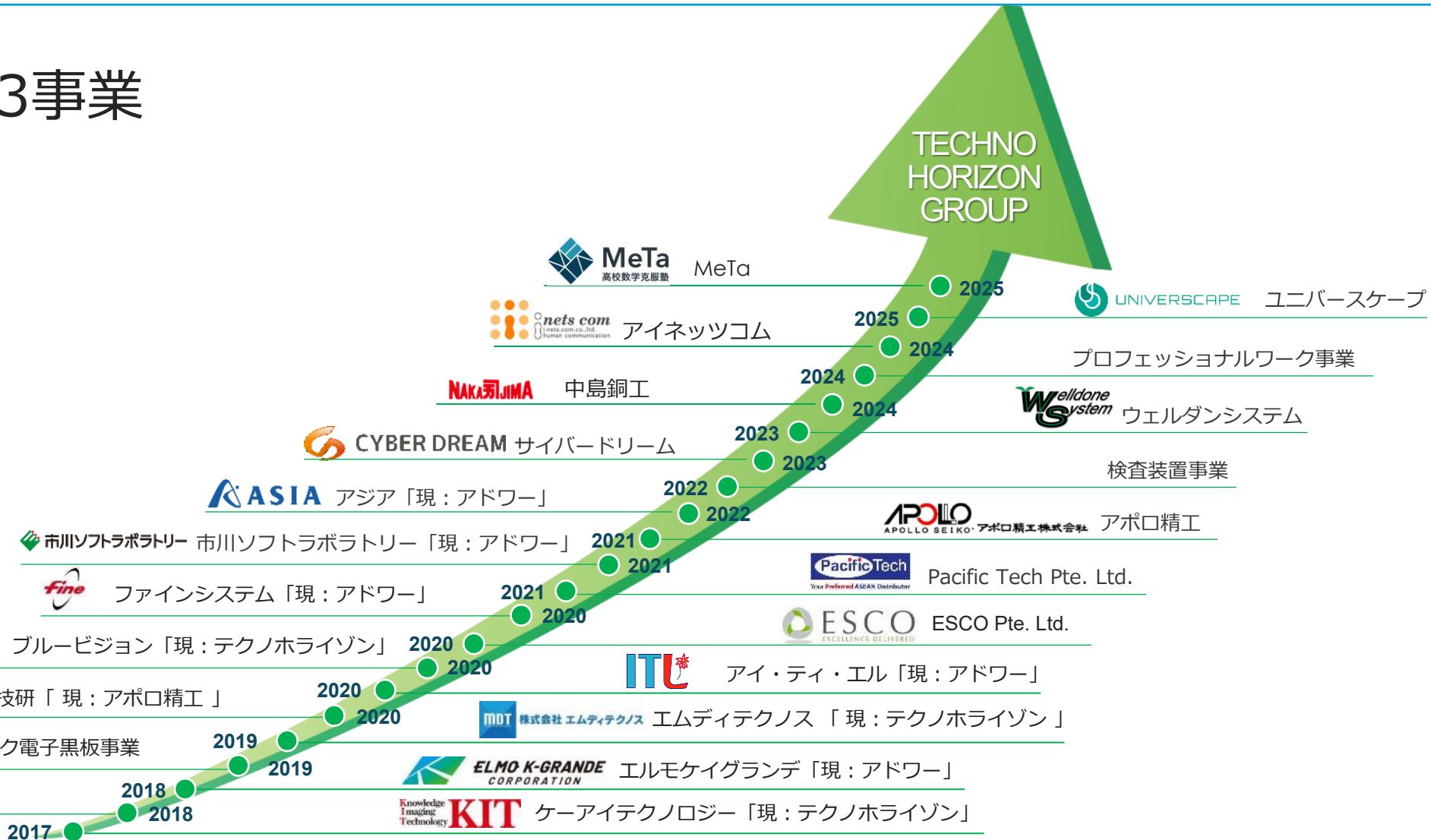


課題感

- ★ 人材確保・育成
  - ★ コーポレート・ガバナンス

## (6) グローバル化を加速

19社3事業



## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## I R 担当窓口

- 役職：取締役
- 氏名：加藤 靖博
- 電話：052-823-8551
- FAX：052-823-8560
- E-mail：[info@th-grp.jp](mailto:info@th-grp.jp)

グループ社是

風 向 かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風

嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波

上昇気流に乗り優雅に舞う蝶

アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い

状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス

授かった希望

未来へ羽ばたく風をつかめ

# TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIE TECH

APOLLO  
APOLLO SEIKO

## TECHNO HORIZON GROUP



BlueVision



ESCO  
EXCELLENCE DELIVERED



APOLLO  
APOLLO SEIKO



CYBER DREAM



NAKAJIMA



UNIVERSCAPE



MeTa  
高校数学克服塾